# 第15回
# 定時株主総会



G-TEKT CORPORATION

株式会社ジーテクト

# (株)ジーテクト

# 中期経営戦略

2026/06/22

Copyright©2026 G-TEKT CORPORATION

# 目次

１．業績振り返り

２．2030年度経営目標

３．中期経営戦略

４．長期成長戦略

Copyright©2026 G-TEKT CORPORATION

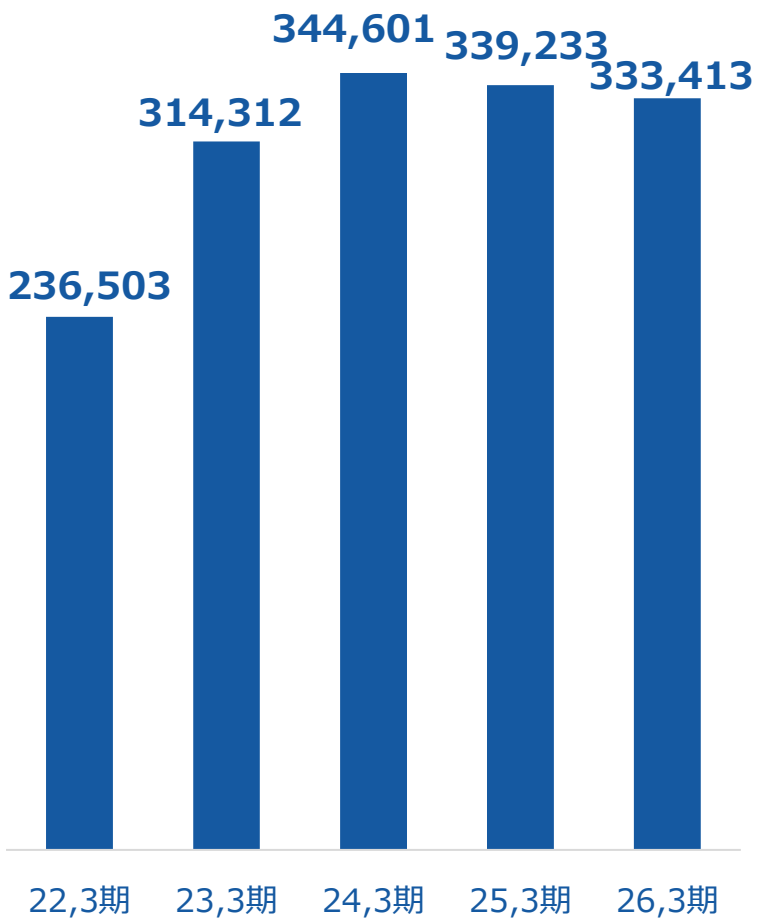
# 目次

１．業績振り返り
２．2030年度経営目標
３．中期経営戦略
４．長期成長戦略

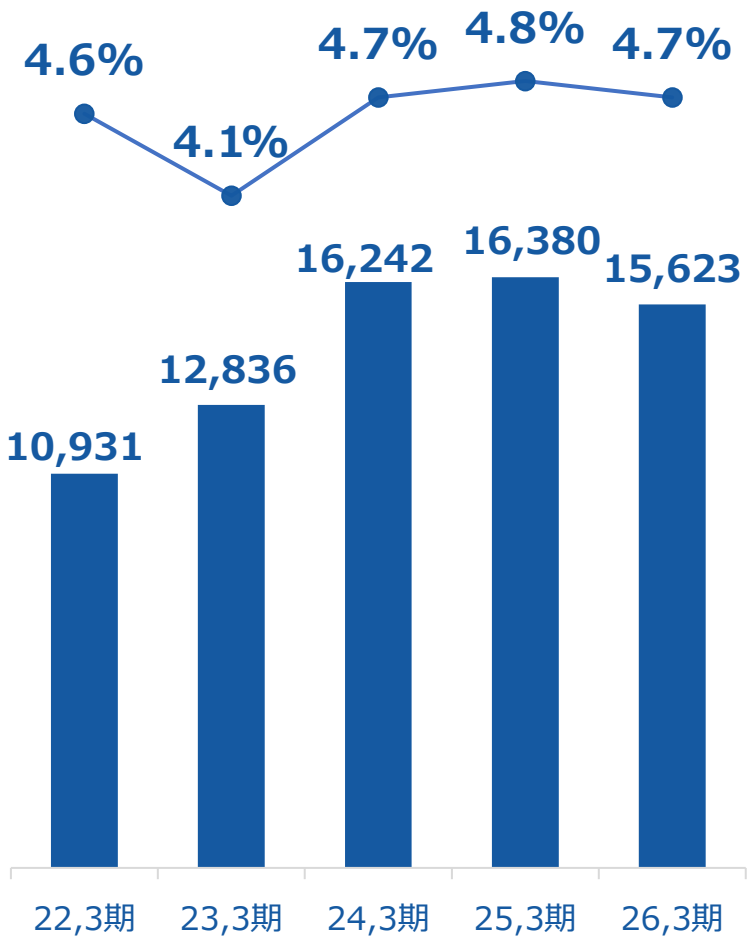
Copyright©2026 G-TEKT CORPORATION

# 更なる売上拡大と収益基盤の改善が重要な経営課題

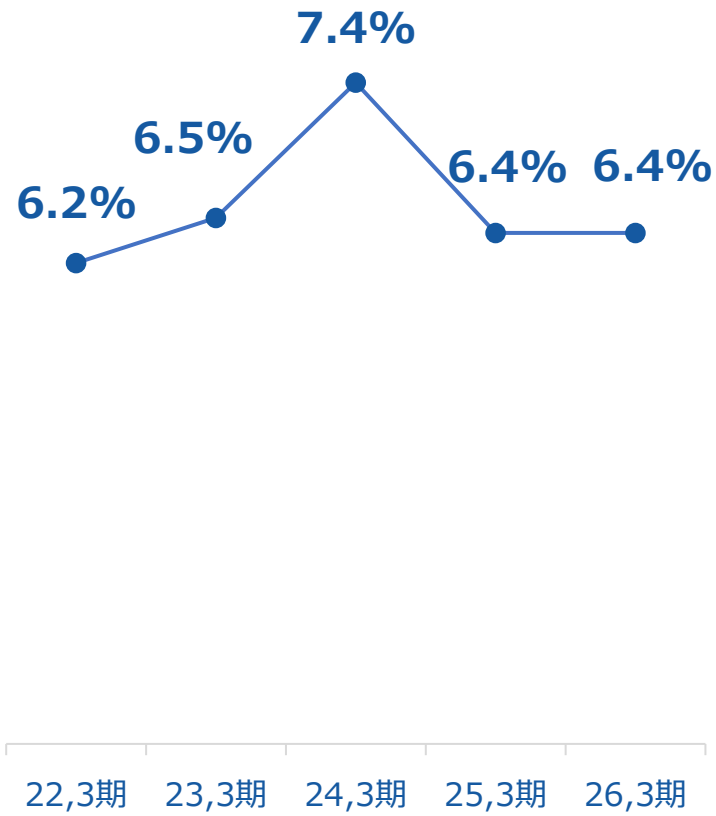
## 売上高（百万円）




## 営業利益/営業利益率(百万円)




## ROE(自己資本利益率)




Copyright©2026 G-TEKT CORPORATION

# 目次

１．業績振り返り

２．2030年度経営目標

３．中期経営戦略

４．長期成長戦略

Copyright©2026 G-TEKT CORPORATION

**クルマのシステムサプライヤー(Tier 0.5)へ進化し売上拡大を確実なものに**
**スマートファクトリー化で営業利益率向上(7.0%以上体質)を確実なものに**

## 2030年VISION

情熱と革新を融合させ
人とクルマと地球のより良い未来をかたちづくる

## 経営目標

**2030年度**('31年3月期)

| | | |
|---|---|---|
| | 連結売上高 | 4,000億円 |
| | 連結営業利益 | 280億円 <7.0%以上> |
| 新設 | ROE(自己資本利益率) | 10%以上 |
| | DOE | 3.0%以上 |
| | 配当性向 | 30%以上 |

Copyright©2026 G-TEKT CORPORATION

# 目次

１．業績振り返り

２．2030年度経営目標

**３．中期経営戦略**

４．長期成長戦略

Copyright©2026 G-TEKT CORPORATION

# 自動車産業は生き残りを懸けた厳しい時代、「変革なくして未来なし」

## 世界経済・地政学的リスクから来る課題

・半導体不足や原油不足を起因とした新車生産台数減 (売上減少)

・世界的なインフレを背景とした労務費高騰 (製造原価高)

・生産年齢人口の減少や米国の移民規制強化 (働き手確保困難)

**強固な事業基盤の構築と、収益基盤の改善が急務**

## 自動車産業・自動車メーカーが抱える課題

・電動化戦略の練り直しと、車両開発のスピードアップが求められる (地域別開発)

・知能化(ソフトウェア開発)にリソースを割かなければならない (多額の開発費用)

・コスト競争力強化のため、調達構造の見直しが必要 (サプライチェーンの再構築)

**選ばれるサプライヤーへの変革が必要 果たす役割が変化**

Copyright©2026 G-TEKT CORPORATION

# 2030年度目標を確実に達成するため、新たに「中期経営目標(‘28年度目標)」を設定

| 実績 | 中期経営目標 | 2030年度経営目標 |
|---|---|---|
| 2025年度 (‘26,3期) | 2028年度 (‘29,3期) | 2030年度 (‘31,3期) |
| 連結売上高 3,334億円 | 連結売上高 3,800億円 | 連結売上高 4,000億円 |
| 連結営業利益 156億円 | 連結営業利益 250億円 | 連結営業利益 280億円 |
| 営業利益率 4.7% | 営業利益率 6.5%以上 | 営業利益率 7.0%以上 |
| ROE 6.4% | ROE 8.0%以上 | ROE 10.0%以上 |

Copyright©2026 G-TEKT CORPORATION

# 中期では収益改善策を最優先に取り組むと共に、将来に向けた仕込みにも注力

## 収益基盤の改善

- 生産体質変革(省人化/無人化)
- DXとデジタル技術活用(スマートファクトリー化)
- 不採算部門の整理

## 売上拡大

- モジュール化提案＆プラットフォーム提案
- 適正価格への移行
- 非量産ビジネスの拡大(金型設備/試作品)
- 新規事業の創出

## 財務体質改善/企業価値向上

- 積極的な成長投資
- IR(投資家向け広報)活動強化

## 人的資本

- 従業員エンゲージメントの向上
- 教育研修/リスキリング支援

## ESG

- $CO_2$排出量の削減(エネルギー使用量削減)
- ガバナンス強化

Copyright©2026 G-TEKT CORPORATION

# 体質変革を加速し、着実に収益性の高い工場へ進化

| | FY2025 | FY2026 | FY2027･･･ |
|---|---|---|---|
| 投資 | 日本,中国 | 北米 | アジア,<br>国内既存工場 他 |

体質変革

## 信頼性向上

### ジーテクトスタンダード



品質検査の自動化

- ✓ デジタル品質保証の確立
- ✓ プレス/溶接の自動検査標準化
- ✓ データによる現場の見える化

## 生産性向上

### 地域に合わせた段階的体質変革



省人化･無人化



工場内物流



自動倉庫

- ✓ 省人･無人化の段階的導入(投資対効果検証)
- ✓ 要員効率/エネルギー効率の最大化
- ✓ 生産変動/多品種にも追従できる設備

Copyright©2026 G-TEKT CORPORATION

# グローバルで多数の新規モデルが生産準備中

＜自動車OEM＞

| | |
|---|---|
| 日系 | ホンダ、トヨタ、スズキ、日産 |
| その他 | 欧州系・中国系メーカー |

**売上拡大**
**収益性改善**

**BEV：10Models**
**ICE/HEV：27Models**

**Total**
**37Models**
**('26～'28年度)**



Copyright©2026 G-TEKT CORPORATION

# 将来に向けた成長投資へ優先的に資本配分

## FY2026-28累計

| キャッシュイン | キャッシュアウト | | |
|---|---|---|---|
| 営業CF<br>1,150億円<br>程度 | 投資<br>1,125億円<br>程度 | 新機種<br>生産体質変革<br>950億円 | 新規生産ラインの設置/工場拡張<br>既存生産ラインの無人化・省人化<br>構内物流の無人化 |
| | | 研究開発<br>120億円 | モジュール商品開発<br>新機種開発 |
| | | 新規事業<br>30億円 | 実証設備導入<br>市場調査/事業性検証 |
| | | 人的資本<br>15億円 | エンゲージメント向上/処遇改善<br>教育研修/リスキリング支援 |
| | | DX<br>10億円 | 業務改革推進<br>AI活用 |
| 資金調達 | 株主還元<br>150億円程度 | 配当<br>150億円 | 配当性向30%以上<br>2030年度目標DOE3.0% |

Copyright©2026 G-TEKT CORPORATION

# 投資家との対話・知名度向上により株価の適正評価へ

## 投資家との対話強化

＜25年度実績＞
・機関投資家1on1ミーティング
・個人投資家説明会(2回)



＜26年度計画＞
・機関投資家1on1ミーティング(2回以上)
・個人投資家説明会(3回以上)
‘26,7,15(水) 東京 (大和IR共催)
‘26,10,9(金) 名古屋 (野村IR共催)
’27,2,xx 大阪 (計画中)
・株主事業説明会(計画中)

**経営方針・成長戦略を訴求**

## 開示情報の拡充

・成長戦略の発信強化
(統合報告書 他)
・非財務情報の拡充
(ESGデータブック)
・タイムリーな情報開示
(HPリニューアル)
・企業調査レポート
(シェアードリサーチ)

Shared Research

**透明性向上・認知度向上**

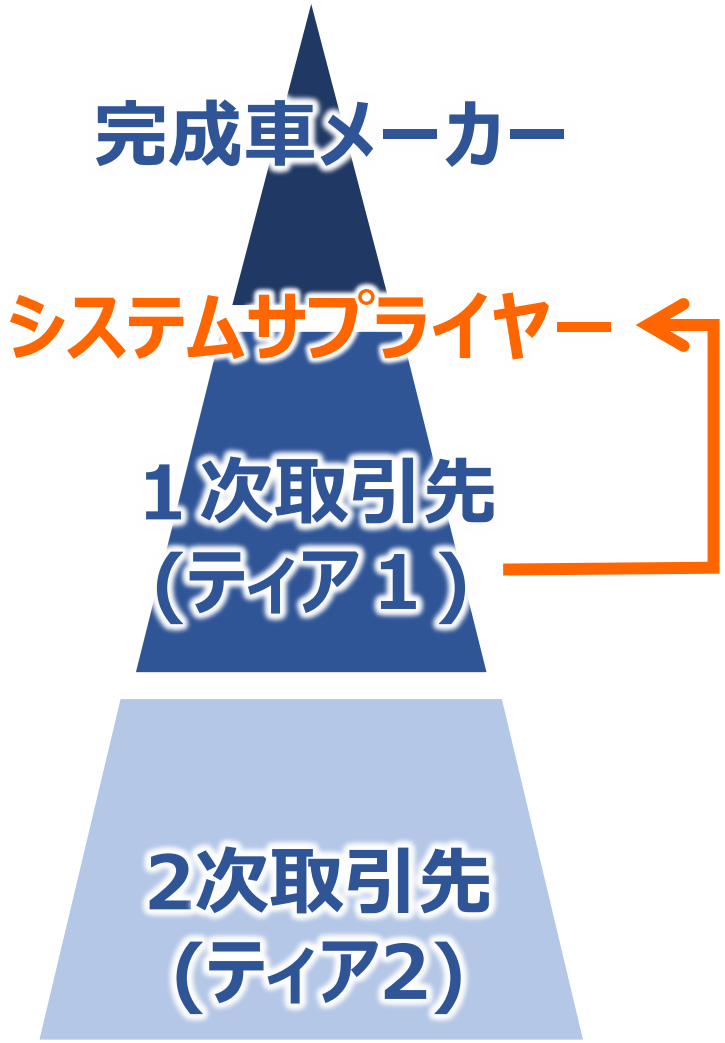
Copyright©2026 G-TEKT CORPORATION

# 目次

１．業績振り返り
２．2030年度経営目標
３．中期経営戦略
４．長期成長戦略

Copyright©2026 G-TEKT CORPORATION

# 「車体一台解析技術」を武器に、一つ上の階層「システムサプライヤー」へ進化




## G-TEKTが目指す姿
### クルマのシステムサプライヤー(ティア0.5)

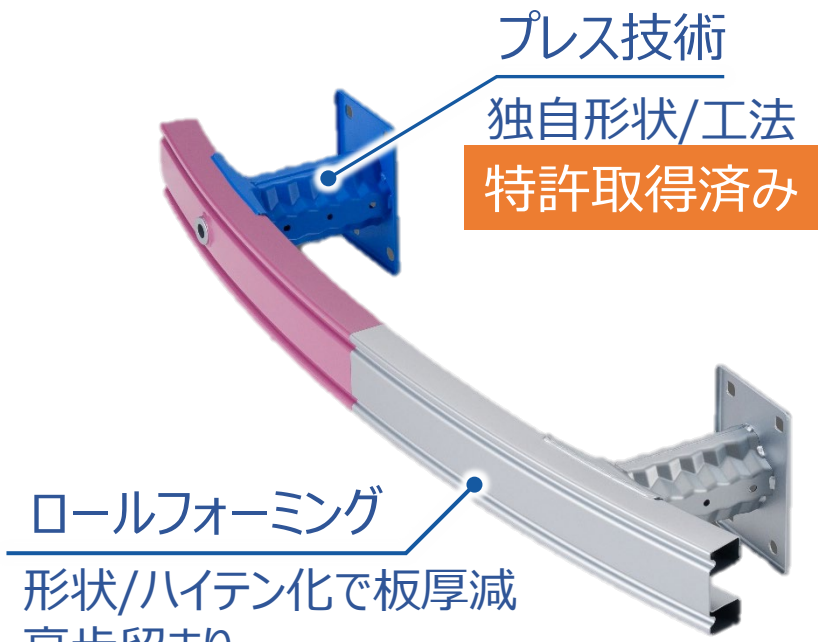
| ＜従来＞<br>1次取引先 | ＜将来＞<br>システムサプライヤー |
|---|---|
| 開発後工程で参画 | 開発初期から参画 |
| 部品単位の受注 | システム単位の受注 |
| 価格競争中心 | 技術提案中心 |
| 受注変動大 | 長期取引拡大 |
| 利益率が限定的 | 高付加価値化 |

Copyright©2026 G-TEKT CORPORATION

# 当社独自の新たなモジュール(大型一体化)製品を開発

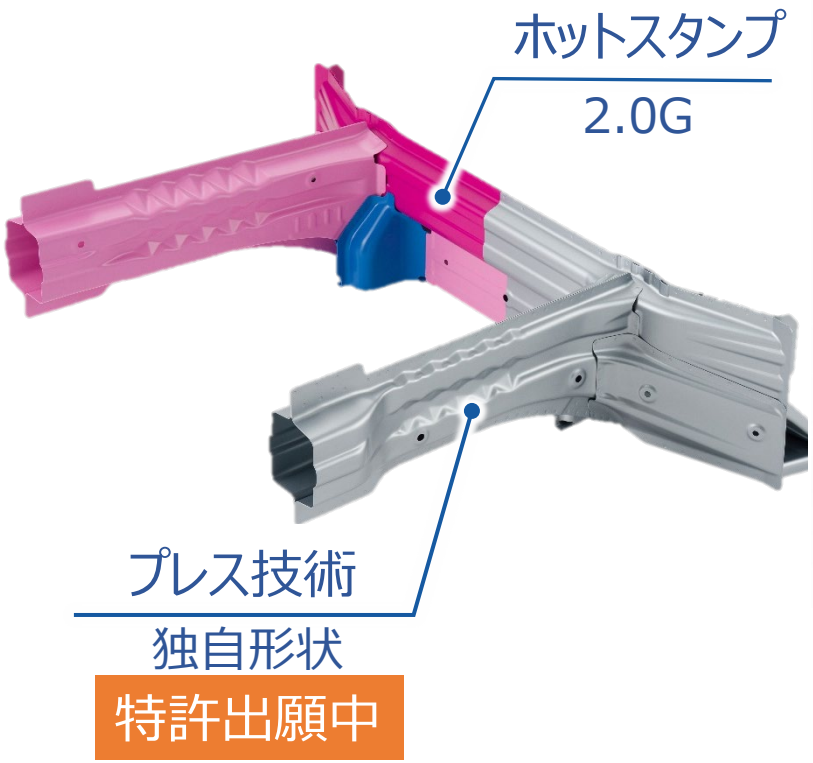
## バンパービーム

**重量　-15%**
**コスト　-15%**




## フロントモジュール

**重量　-18%**
**コスト　-23%**







Copyright©2026 G-TEKT CORPORATION

# モビリティの多様化に応えるプラットフォームを開発中

FY2024 → FY2026 → FY2030

## モジュール開発



リア
開発完了



バンパービーム
開発完了



フロント
開発完了



センターフロア
開発中

## ジーテクトプラットフォーム開発

パワートレインに合わせ最適プラットフォームを提案



プラットフォーム

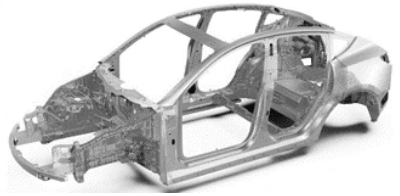
最適化

ICE/HEV



BEV





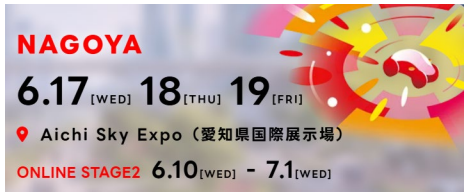
Copyright©2026 G-TEKT CORPORATION

# 人とくるまのテクノロジー展2026に出展













画像：人とくるまのテクノロジー展 2026 HPより




## ＜出展製品＞

**大型一体化モジュール製品**

NEW・フロントモジュール
・リアモジュール(2種類)
・ドアリング

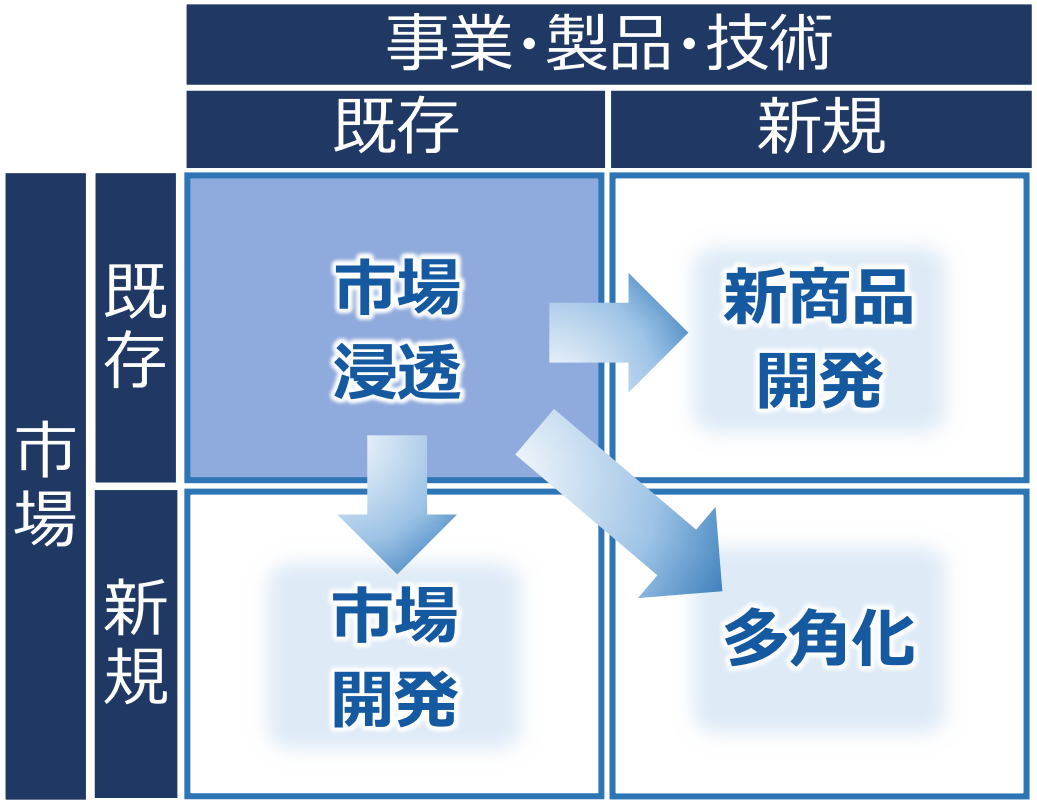
**高EA(衝撃吸収)製品**

NEW・バンパービーム
・サイドシル(2種類)　他

紹介ビデオ
（5分30秒）

Copyright©2026 G-TEKT CORPORATION

# 長期成長戦略の一環として、新たな事業の創出を目指す




**既存事業との親和性も考慮し**
**事業アイデアを探索**

## 検討テーマ

- 環境問題($CO_2$,水)
- 食料安全保障
- 次世代モビリティ

他

Copyright©2026 G-TEKT CORPORATION




Copyright©2026 G-TEKT CORPORATION

# 将来見通しに関する注意事項

本資料に記載されている業績見通し、計画、戦略等の将来に関する記述は、
当社が現時点で入手可能な情報および合理的と判断する一定の前提に
基づいております。
実際の業績等は、経済情勢、事業環境の変化、為替変動、原材料価格の変動、
法規制の変更等、様々な要因により見通しが異なる可能性があります。

Copyright©2026 G-TEKT CORPORATION